



# 2016年2月期 決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス  
(3063)

2016年4月20日



## 1. 連結決算概要

決算ハイライト	-----	4
連結損益計算書概要	-----	5
連結貸借対照表概要	-----	6
連結キャッシュ・フロー計算書概要	-----	7
セグメント別業績概況	-----	8
飲食事業の業態分析	-----	9

## 2. 2016年2月期トピックス

下期の営業利益が大幅改善	-----	11
粗利100円アップ施策の貢献	-----	12
店舗選別によるリニューアル・閉店店舗の貢献	-----	13
売上高は過去最高を更新	-----	14
堅調な既存店業績	-----	15
2016年2月期の新規出店	-----	16
2016年2月期の店舗取得・リニューアル	-----	17
店舗数の推移	-----	18
JGrowth 大曽根のオープン	-----	19

## 3. 今後の取り組み

グループの組織再編	-----	21
飲食事業の取り組み	-----	22
既存店舗のリノベーション	-----	23
2017年2月期の新規出店	-----	25
従業員満足度向上への取り組み	-----	26
不動産事業の取り組み	-----	27
今期の業績見通し	-----	28



# 1. 連結決算概要



- 1 売上高は過去最高を更新**

連結売上高は前年同期比 101.2% の 13,823 百万円となり、過去最高を更新。
- 2 営業利益は増益を達成**

連結営業利益は前年同期比 106.6% の 72 百万円となり、増益を達成。
- 3 11 店舗を出店・2 店舗を取得**

2016 年 2 月期通期で 11 店舗を新規出店し、2 店舗を店舗取得。

# 連結損益計算書概要



	2015年2月期 通期		2016年2月期 通期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	13,665	100.0	<b>13,823</b>	<b>100.0</b>	101.2
売上原価	4,238	31.0	<b>4,315</b> ①	<b>31.2</b>	101.8
売上総利益	9,427	69.0	<b>9,507</b>	<b>68.8</b>	100.9
販売管理費	9,359	68.5	<b>9,435</b> ②	<b>68.3</b>	100.8
営業利益	67	0.5	<b>72</b>	<b>0.5</b>	106.6
営業外収益	123	0.9	<b>111</b>	<b>0.8</b>	90.4
営業外費用	91	0.7	<b>111</b>	<b>0.8</b>	121.8
経常利益	99	0.7	<b>72</b>	<b>0.5</b>	72.6
特別利益	40	0.3	—	—	—
特別損失	42	0.3	<b>194</b> ③	<b>1.4</b>	459.5
税金等調整前当期純利益 または純損失	97	0.7	△122	—	—
当期純利益 または純損失	28	0.2	△232	—	—

① 飲食事業単独での原価率は27.7%となり当初予算どおり着地。  
(前年同期比0.4ポイントの増加)

② 上期の先行した人材投資を下期の  
コストコントロールで調整し、  
販管費比率は前期を下回る。

③ 外部環境の変化に伴い、店舗の  
運営基準を見直し、不採算店舗  
の撤退・減損等を実施。

# 連結貸借対照表概要



(百万円)	2015年2月期 期末	2016年2月期 期末	(百万円)	2015年2月期 期末	2016年2月期 期末
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	1,550	1,051	流動負債	2,882	2,571
現金及び預金	749	289	買掛金	581	412
売掛金	381	335	短期借入金 ※	963	984
たな卸資産	95	96	その他	1,338	1,174
その他	323	329	固定負債	3,750	3,826
固定資産	7,103	7,115	長期借入金	3,187	3,361
有形固定資産	5,453	5,564	その他	563	465
建物及び構築物	3,284	3,084	負債合計	6,633	6,398
土地	1,632	1,774	<b>純資産の部</b>		
その他	535	705	株主資本	2,069	1,812
無形固定資産	50	40	資本金	1,068	1,068
投資その他の資産	1,599	1,511	資本剰余金	998	998
繰延資産	5	2	利益剰余金	77	△179
資産合計	8,659	8,169	自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△46	△47
			新株予約権	3	3
			純資産合計	2,026	1,771
			負債純資産合計	8,659	8,169

※一年内返済予定長期借入金含む

# 連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

	2015年2月期 通期実績	2016年2月期 通期実績	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,247	511	税金等調整前当期純利益 △122百万円 減価償却費804百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,209	△1,036	新規出店等の設備投資による 有形固定資産の取得 1,024百万円 差入保証金の差入109百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	63	65	長期借入れ1,369百万円 長期借入金の返済1,190百万円
現金及び現金同等物の増減額	101	△459	
現金及び現金同等物の期首残高	648	749	
現金及び現金同等物の期末残高	749	289	

# セグメント別業績概況



(百万円)

		2015年2月期 通期実績	2016年2月期 通期実績	前年同期比 (%)	ポイント
<b>飲食事業</b> 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	12,206	<b>12,426</b>	101.8	新規出店、好調な既存店により 店舗整理の影響を吸収し、売上高 ・利益ともに増加。
	営業利益	524	<b>635</b>	121.2	
<b>不動産事業</b> 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	1,732	<b>1,811</b>	104.6	「JGrowth 大曽根」の稼働が開始し 売上高は増加、一時的なオープン 経費により利益は減少。
	営業利益	160	<b>154</b>	96.5	
<b>ブライダル事業</b> 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	973	<b>828</b>	85.1	「LUCENT Mariage Tower」の強み である高層階からの景観が、名古屋 駅周辺の開発工事により悪化し、 成約率が減少。
	営業利益	69	<b>28</b>	40.7	
<b>その他の事業</b> 広告代理業、卸売業等	売上高	877	<b>924</b>	105.3	店舗数の増加、独立支援店舗への 納入開始等によりジェイトレード の取扱高が増加。
	営業利益	58	<b>38</b>	64.8	
<b>調整額</b>	売上高	△2,124	<b>△2,166</b>	—	
	営業利益	△745	<b>△784</b>	—	
<b>連結財務諸表 計上額</b>	売上高	13,665	<b>13,823</b>	101.2	
	営業利益	67	<b>72</b>	106.6	



# 飲食事業の業態分析



(百万円)

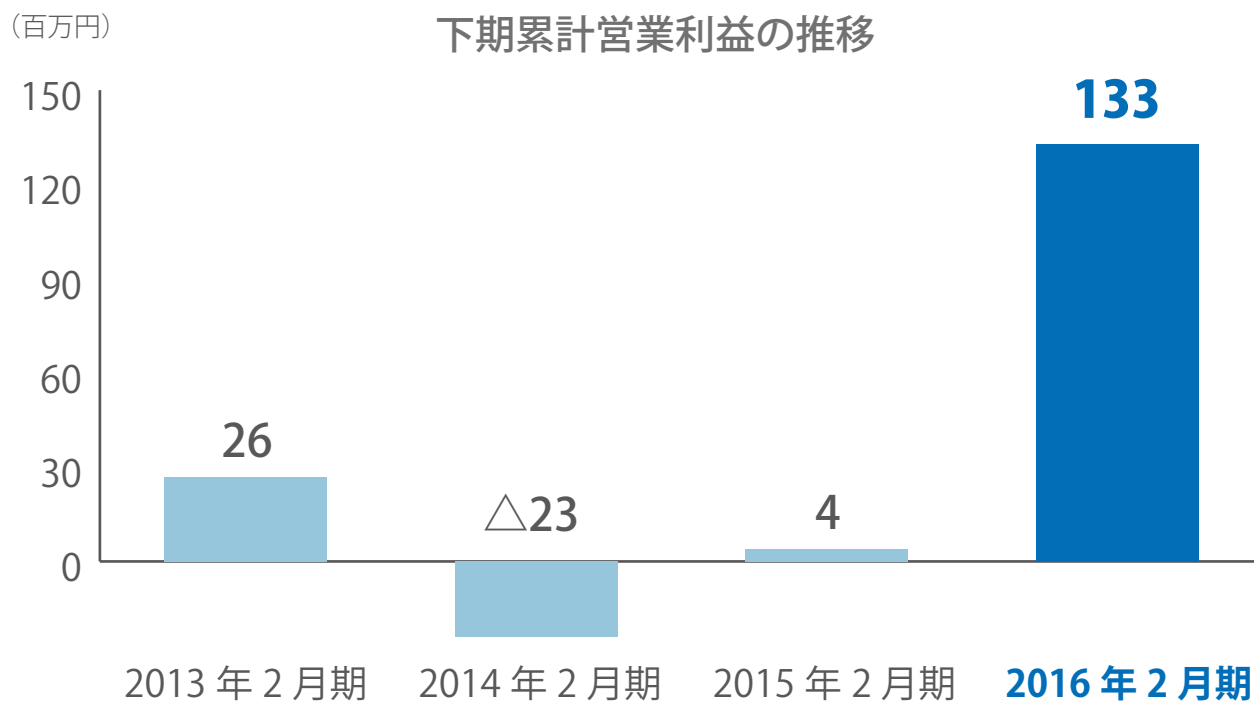
		2015年2月期 通期実績	2016年2月期 通期実績
居酒屋業態	売上高	9,085	<b>9,504</b>
	営業利益 (本部経費配賦前)	1,054	<b>1,289</b>
レストラン業態	売上高	1,607	<b>1,626</b>
	営業利益 (本部経費配賦前)	176	<b>101</b>
カフェ業態	売上高	961	<b>1,076</b>
	営業利益 (本部経費配賦前)	15	<b>△60</b>



## 2. 2016年2月期 トピックス



# 下期の営業利益が大幅改善



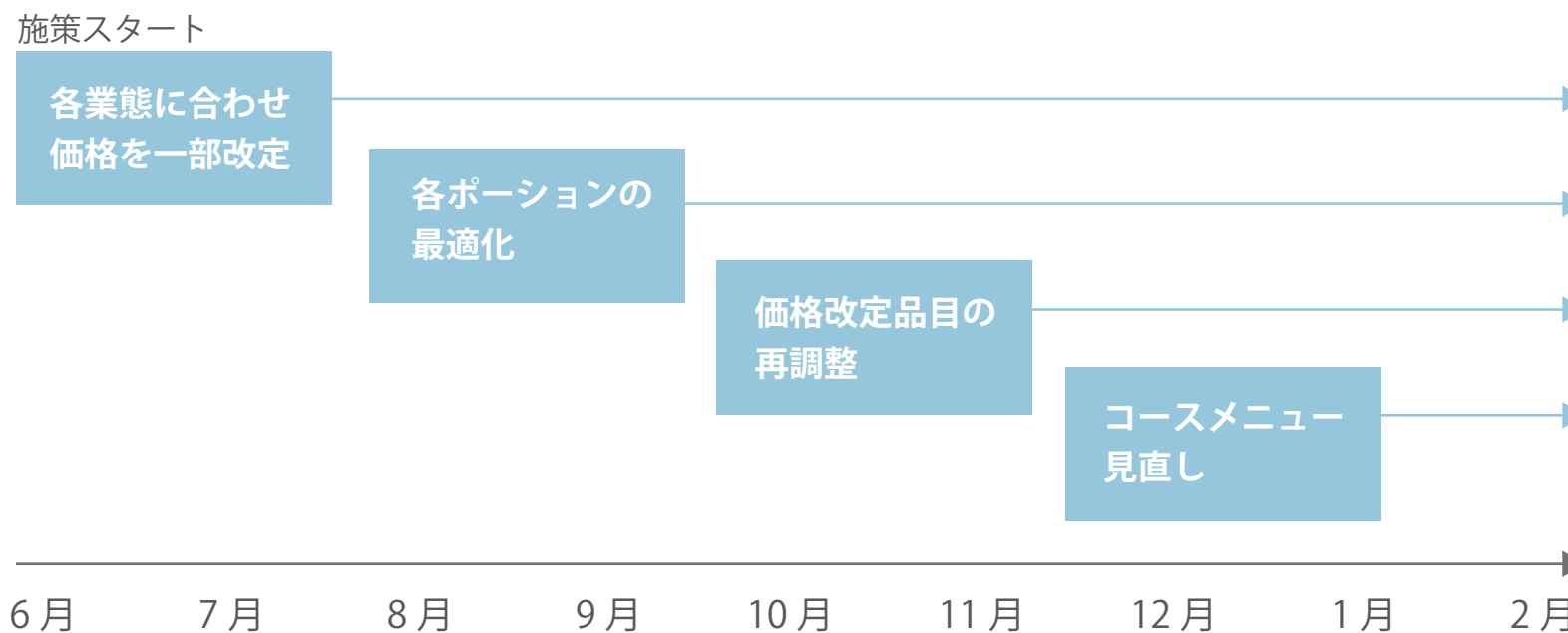
第2四半期の途中から進めてきた、2つの取り組みにより下期の営業利益が大幅に改善

- ① 一人あたり粗利 100円アップ
- ② 店舗選別によるリニューアル・撤退

# 粗利 100 円アップ施策の貢献



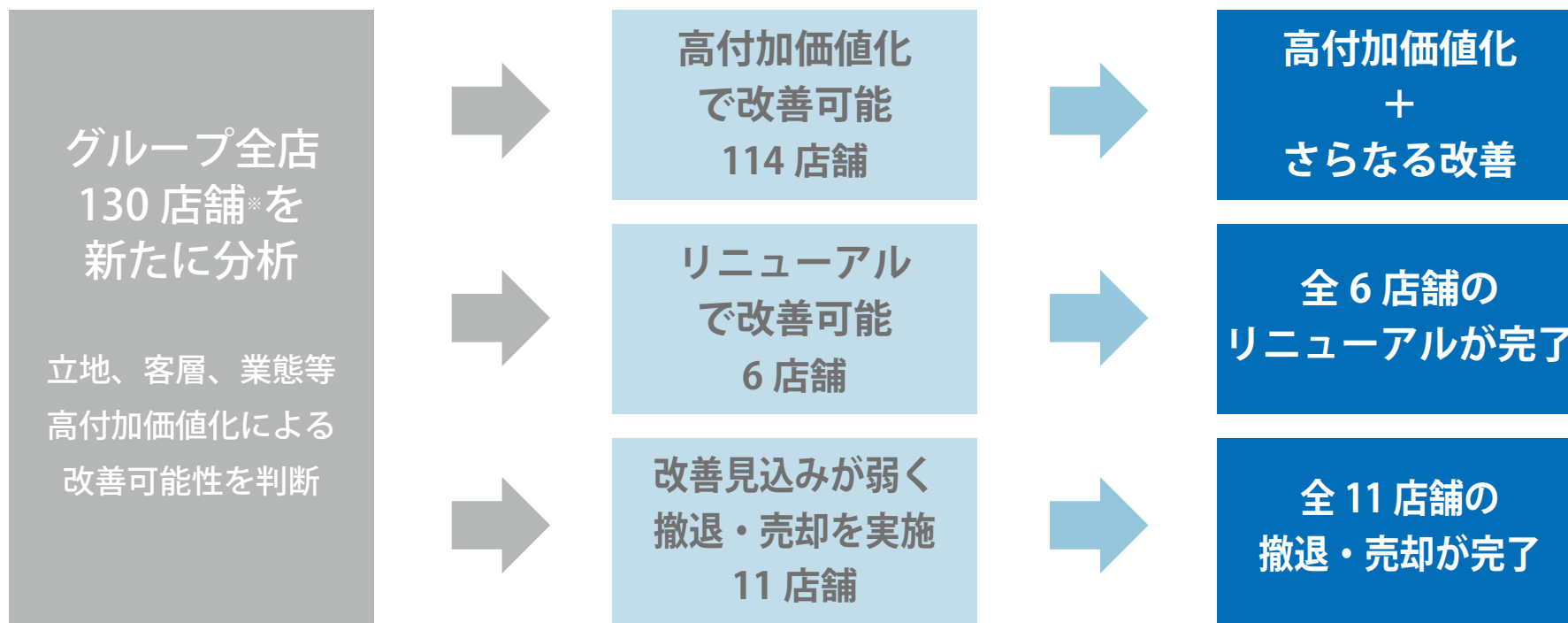
## 粗利 100 円アップ施策の主な内容



2015 年 6 月から施策をスタートし、都度新たな取り組みや品目の調整を継続

➡ **下期平均では一人あたり粗利 60 円アップを達成**

# 店舗選別によるリニューアル・閉店店舗の貢献

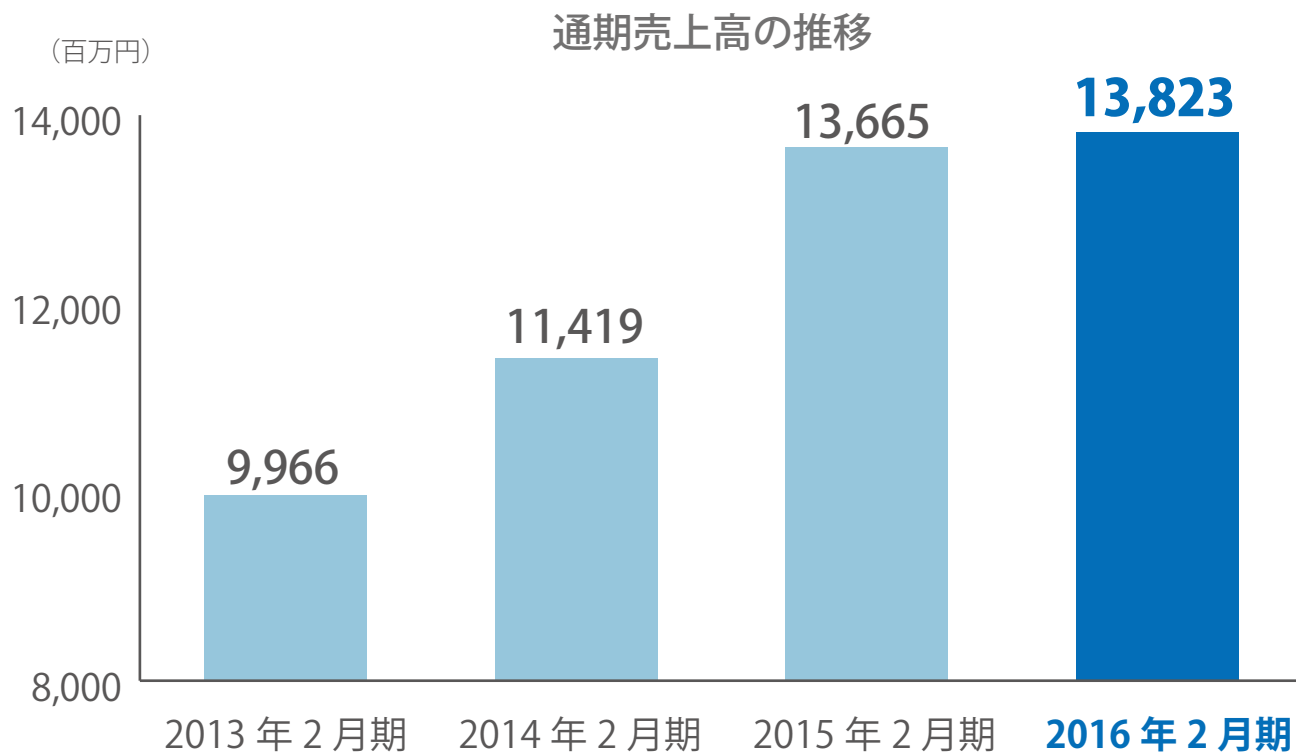


※2015年2月期末時点

不採算店舗のリニューアル・閉店を早期に進めたことで期中での損失発生を低減

➡ **下期累計で 8,000 万円程度の営業利益貢献**

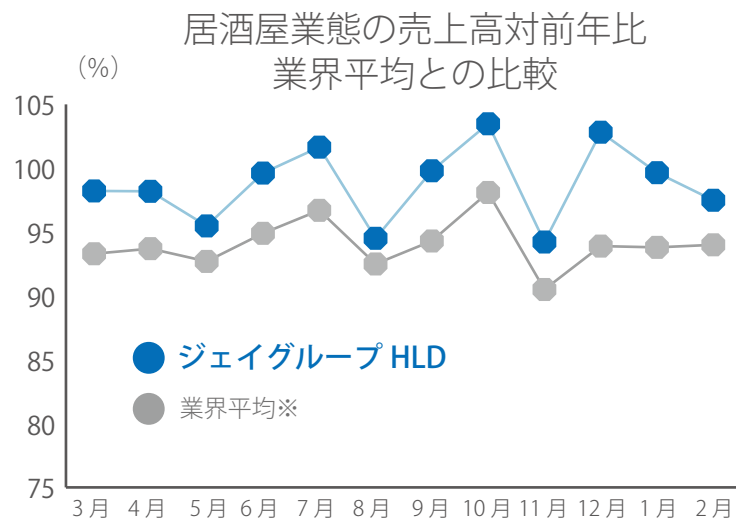
# 売上高は過去最高を更新



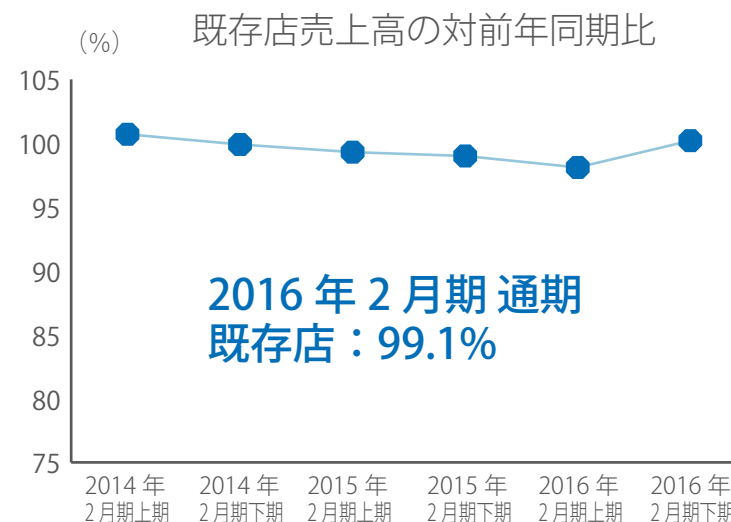
前述した11店舗閉店の影響を下記2点の要因により吸収し、過去最高売上高を達成

- ① しっかりとした既存店の運営
- ② 新規出店・店舗取得による店舗増加

# 堅調な既存店業績



※出典：日本フードサービス協会



		2015年										2016年		2016年2月期実績
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	98.2%	98.2%	95.5%	99.6%	101.7%	94.5%	99.8%	103.5%	97.6%	102.8%	99.6%	97.5%	98.9%
	来店客数前年同月比	98.1%	98.3%	94.8%	97.7%	99.7%	92.9%	98.4%	102.1%	94.8%	100.6%	95.2%	93.3%	97.3%
	客単価前年同月比	100.1%	99.8%	100.7%	101.9%	102.0%	101.8%	101.5%	101.4%	102.9%	102.2%	104.7%	104.5%	101.6%
レストラン業態	売上高前年同月比	93.4%	95.6%	99.9%	94.8%	101.9%	106.2%	108.8%	104.5%	95.9%	99.2%	102.1%	104.0%	100.0%
	来店客数前年同月比	93.8%	96.4%	97.2%	90.4%	95.4%	99.4%	101.7%	100.1%	99.3%	99.3%	104.9%	108.4%	98.4%
	客単価前年同月比	99.6%	99.1%	102.7%	104.8%	106.8%	106.9%	107.0%	104.4%	96.6%	99.8%	97.3%	96.0%	101.7%
カフェ業態	売上高前年同月比	97.3%	110.2%	109.0%	105.6%	97.9%	93.2%	92.6%	105.9%	97.4%	95.0%	100.5%	98.1%	99.2%
	来店客数前年同月比	104.3%	103.7%	114.1%	99.0%	94.5%	91.7%	91.9%	106.1%	113.3%	93.9%	100.5%	99.0%	100.5%
	客単価前年同月比	93.3%	106.3%	95.5%	106.7%	103.6%	101.6%	100.8%	99.8%	85.9%	101.2%	100.0%	99.1%	98.7%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

# 2016年2月期の新規出店



3月



3月3日 猿Cafe 星ヶ丘店



3月6日 SARU CAFE ラシック店



3月26日 芋蔵霞が関店

4月



4月24日 MANOA VALLEY CAFE



4月24日 ためつ食堂

5月

5月12日  
お勝手たんと



10月



10月9日 ビュッフエレストラン 大地の恵み



10月29日 おむすび 結び菜

11月



11月19日 Grill&Shrimp restaurant Mart

12月



12月3日 大曾根魚介センター 浜焼商店



12月3日 焼肉 燦家 大曾根店



# 2016年2月期の店舗取得・リニューアル



3月

3月1日（店舗取得）  
猿 Cafe TV 塔店



3月1日（店舗取得）  
猿 Cafe 葵店



6月

6月4日（リニューアル）  
THE NEWYORK STEAK HOUSE  
mozo ワンダーシティ上小田井店



7月

7月13日（リニューアル）  
しゃぶしゃぶ彩菜イオン東浦店



8月

8月11日（リニューアル）  
DRY STADIUM



8月20日（リニューアル）  
どなんち静岡呉服町店



9月

9月18日（リニューアル）  
TRENCH 食堂







## 施設概要

施設名:	JGrowth 大曾根
住所:	名古屋市北区
敷地面積:	158.16 m <sup>2</sup>
延べ面積:	約 566.97 m <sup>2</sup>
構造:	鉄骨造5階建
オープン日:	2015年12月3日

## 入居店舗

5階	「かいえん」	(独立支援店舗)
4階	「うりずん」	(他社店舗)
3階	「燦家」	(自社出店)
2階	「浜焼商店」	(自社出店)
1階	「串カツ田中」	(独立支援店舗)

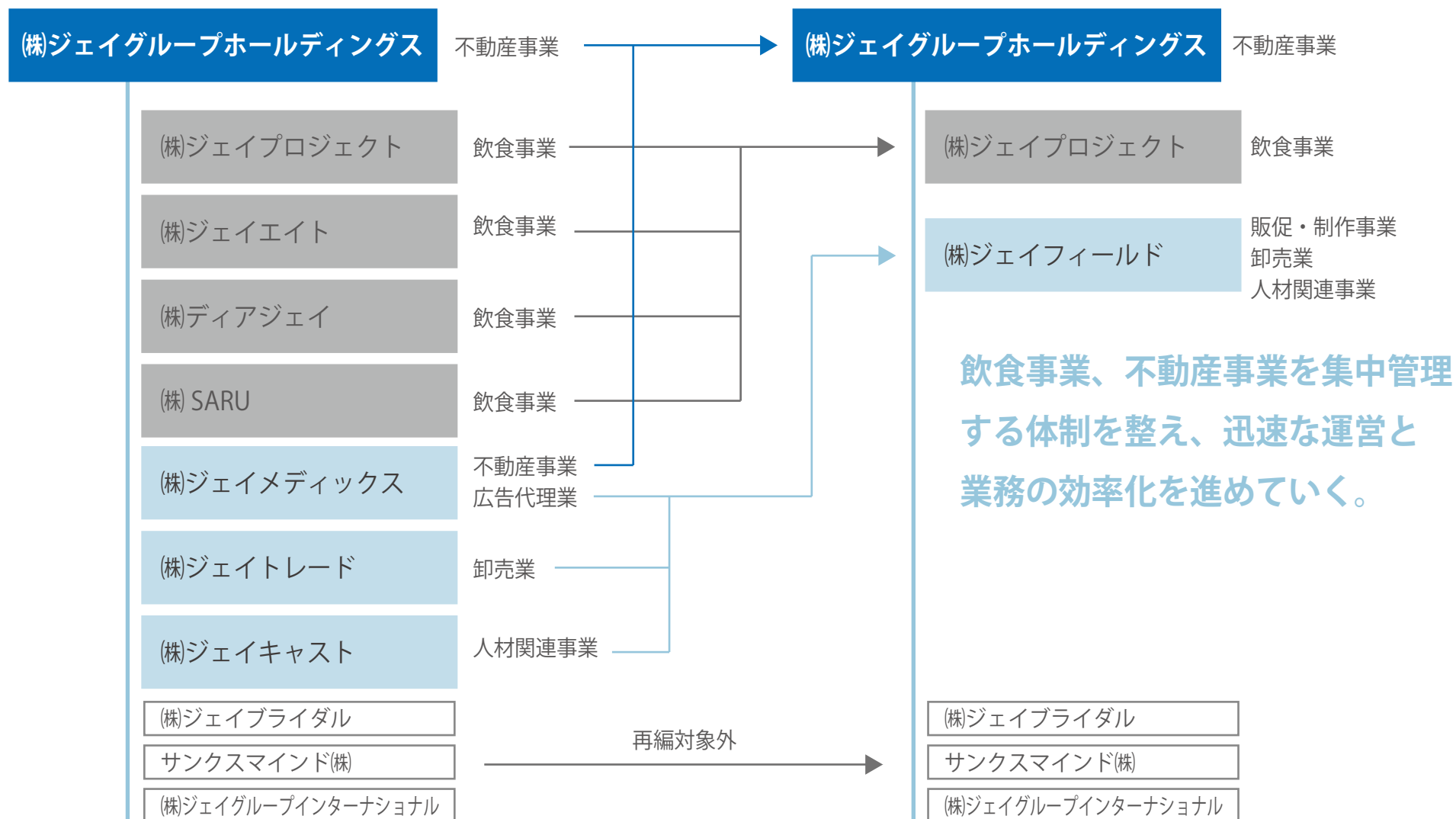


### 3. 今後の取り組み



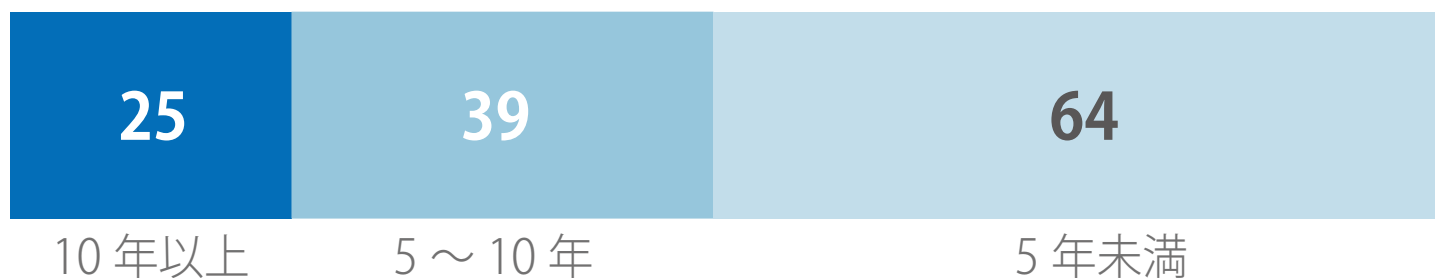
## 以前のグループ体制

## 再編後のグループ体制 (3月1日以降)



- 1 既存店舗のリノベーション**
- 2 新しい地域への出店**
- 3 従業員満足度の向上**

## 営業年数別の店舗数※



### 営業年数が長い店舗の特徴

- ① 長期で安定的な収益を計上
- ② 店舗の立地が格段に良い
- ③ 長期の信頼による家賃比率低下
- ④ 長期運営により償却負担低下



現状でも合格点の収益店舗をさらにワンランク上の収益を稼げる店舗へリノベーション

## リノベーション事例

庵 GURA 名駅店



2000年8月にオープンした炭焼きダイニングバー。オープン当初より15年以上安定的な収益を計上。



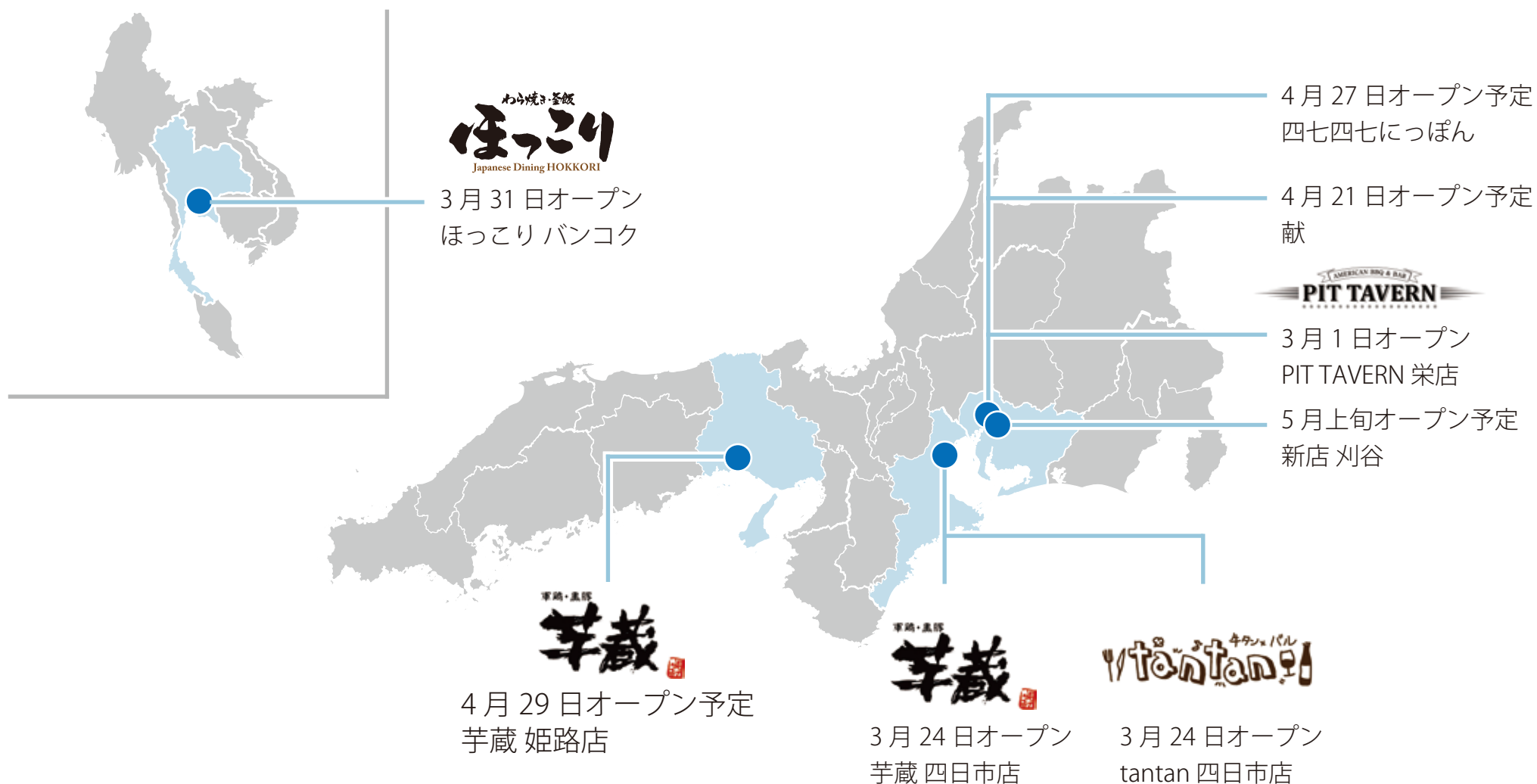
ORIENTAL BISTRO 「パクオリ」



2016年3月にオープンしたオリエンタル料理とワインを楽しめる店舗。  
通常のリニューアルではなく、新規出店に近いコストを投じてリノベーションを実施。



## 都市部への出店に加えて地域中核都市・海外など新しい地域への出店を拡大



# 従業員満足度向上への取り組み



2016年2月期

パート・アルバイトスタッフの待遇を強化

採用時の時給 UP

ポイントプログラムの開始

2017年2月期

正社員の待遇を強化

新給与体系導入

ワークライフバランスの充実

より実力を反映した評価制度に基づく新給与体系を2017年2月期の下期より導入。

休暇取得の推奨や各種の制度を充実し、従業員の長期的な満足度を向上させる。



- ① Jグループの強みをより強固に
- ② 適正な人件費で最大のサービスを提供
- ③ 優秀な人材に長期的に働いて頂く



## 施設概要

施設名	未定
住所	名古屋市中区
敷地面積	105.58 m <sup>2</sup>
延べ面積	526.44 m <sup>2</sup>
構造	S造地下1階地上5階
オープン日	2016年5月(予定)

## 入居店舗(予定)

5階	ワイン業態
4階	焼酎業態
3階	日本酒業態
2階	ウイスキー業態
1階	クラフトビール業態

# 今期の業績見通し



(百万円)

	2016年2月期 通期実績	2017年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	13,823	15,000	108.5
営業利益	72	150	208.1
経常利益	72	120	165.8
当期純利益または 親会社株主に帰属する当期純利益	△232	44	—
配当金	中間 1.5円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

【IRに関するお問い合わせ先】  
株式会社ジェイグループホールディングス  
管理本部 IR担当  
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や  
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、  
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。